

みなさん、こんにちは。連日、新型コロナウイルス関連のニュースが報じられています。

このほど全国で緊急事態宣言が解除され、各地域で少しずつ段階的に自粛要請が緩和されていくことになりました。とはいえ、学校再開・飲食店や施設の利用など、新型コロナウイルス出現前の日常に戻るにはまだまだ時間がかかりそうです。感染予防対策は継続していかなければいけませんね。

新型コロナウイルスを想定した **新しい生活様式**



最近、よく耳にするようになった「**新しい生活様式**」。厚生労働省が新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を踏まえ、公表しました。徐々に新規感染者が減っているとはいえ再度感染が拡大する可能性が十分考えられる新型コロナウイルス。これを予防するためには、私たち一人ひとりが日常生活の中で「新しい生活様式」を心掛けていくことが重要です。具体的にイメージできるよう、様々な場面での実践例も示されています。当院での対策とあわせていくつかご紹介します。

- ・ **まめに手洗い・手指消毒**…当院の玄関にはアルコール消毒液を設置しています。ぜひご利用ください。
- ・ **こまめに換気**…当院ではできる限り窓を開放して診療しております。これからの暑い季節には冷房が効きにくくなることも予想されますが、ご理解ください。
- ・ **「3密」の回避**…待合室の密を避けるため、可能な方はお車もしくは屋外でお待ちください。呼び出しベルをお渡ししています。
- ・ **毎朝体温測定、健康チェック**…受付にて健康状態についてお伺いします。発熱や風邪の症状がある場合には診療をお断りする場合があります。また、当院スタッフも毎日出勤時の検温を行い記録しています。少しでも体調に異変がある場合は自宅待機としています。
- ・ **身体的距離の確保・マスクの着用**…求められる「行動変容」では、人との距離を2メートル（最低1メートル）空けること、また、外出時や会話をするときには症状がなくてもマスクを着用することが求められています。しかし、診療室内や受付では推奨されるようには距離をとることができませんし、マスクを外していただかなければ治療ができません。そのため、当院ではスタッフ全員がマスク・ゴーグル（またはメガネ、フェイスシールド）を、さらに診療にあたる者は防護服・防護キャップを着用しています。受付カウンターには透明ビニールシートで間仕切りをしています。また、お昼休憩には院内のあちこちに分かれ距離をとって昼食をとります。これまでスタッフルームに集まり、和気あいあいと楽しくおしゃべりしながらのお昼休憩だっただけに少し寂しさを感じますが、院内感染防止のために継続しています。

緊急事態宣言解除→3つのお願い

緊急事態宣言が解除された際に述べられた政府からの「3つのお願い」とは①少しずつ段階的に…人との接触を減らす努力を続けてほしい、県をまたいだ移動はできるだけ控えてほしい②前向きな変化（テレワーク、時差出勤など）はできるだけ続けてほしい③日常のあらゆる場面でウイルスへの警戒を怠らないでほしい というものでした。特に③ですが、**ウイルスが身の回りにいることを前提に、感染リスク**

をできる限りコントロールしながら仕事、日々の暮らしを取り戻す。世界中どこにもこうすれば大丈夫という正解はない。長い道のりも覚悟する必要があると強調されました。ウイルスへの警戒意識が薄れた頃、2波、3波がやってくる…諸外国のそのような事例も報道されています。緊急事態宣言は解除されましたが、私たち一人ひとりが対策を続けていくことが重要です。

